

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒481 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.34 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第34回例会 昭和58年4月12日(火)晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 47名 出席 36名
出席率 76.60%

◇前回 4月5日(修正出席率) 97.92% make up

安藤君(4/6和合), 浜口君(4/6和合), 堀場君(3/30名北), 大谷君(4/6名北), 菅原君(4/4豊橋南), 鈴木(正)君(4/4空港), 都築君(4/11空港), 山村君(4/11東)

◇ビジター紹介 2名

◇ニコボックス

大谷君(弟が県会議員当選しました, 又体育館が完成しました), 松居君(本日卓話させて頂きます), 竹内君(プライベートのゴルフコンペで優勝しました), 宮尾君(結婚記念祝), 和田君(結婚記念祝), 樋田君(退会にあたり, いろいろお世話になりありがとうございました)

◇松居幹事報告

1. 5月12日(木)の京都旅行の出欠のお返事をまだされていない方は至急連絡下さい。
2. ロータリー日本60年史(1冊3,500円)とロータリーの友4月号が届いていますのでお持ち帰り下さい。
3. 本日例会終了後, トロント旅行打合わせがありますので, 参加者は3F風の間に集り下さい。
4. このたび会員の樋田君が一身上の都合により退会されることになりました。理事会でも4月12日付で受理されましたので御報告申し上げます。

◇水野(民)会長挨拶

新年度の理事役員並びに各委員会の編成も新年の理事会に於て決定され, それぞれのノミニニーとして次年度に向かって勉強される様お願い致します。RCに於ては特別の事情の

ない限り, 指名された役員の方々は抜けられないという文律があり, ご苦労様ですがよろしくお願い致します。本日は少し遅ればせながら, 桜についてお話しします。

正直爺さんの花の咲く木は桜であり, 琴の「さくら」の曲, 小学校の教科書もサクラで, 唱歌の「霞か雲か」「美しき天然」「花」も桜を唱いあげていますが, これらはヤマザクラで, 日本固有種であるといつて差支えないと思われま

す。その名所は吉野山であり, 茨城県の桜川, 東京の小金井, 京都の嵐山も山桜の名所で, その寿命も長く数百年の古木も残って居りま

す。他に自生種ではオオヤマザクラ(ベニヤマザクラ・エゾヤマザクラ)は4月下旬から6月にかけて戸隠山, 日光中禅寺湖畔, 札幌の円山公園が有名であり, カスミザクラも北海道から九州, 朝鮮半島から中国の東北部まで分布し, 奈良の知恩院の桜が有名です。

オオシマザクラは花弁が30枚以上で淡紅色から白に変わり, その葉は桜餅の側として風味よく甘党に喜ばれて居ります。

他にヒガンザクラ, マメザクラ, タカネザクラ, チシマザクラ, チョウジザクラがあり, 場所によってはまだお花見のできるところもあるかと思いますので, 機会がありましたらお出かけ下さい。

◇講演

“料亭のマナーあれこれ”

会員 松居 敬二 君

料亭の玄関には玄関番がいます。そしてお座敷係りの女性が迎えお客様をお部屋へ御案内致します。玄関からお座敷までの空間, これを「男の花道」と心得て下さい。

日本料亭は現在のところ何と云っても男の最高の社交場です。食事にかかる場合, 双方

共に「頂きます」「おもてなしの心を有難く頂く」という意をこめた美しい日本の挨拶語である。

「頂きます」に首尾照応することばが「ご馳走さま」である。

「今日は私の為に、色々と材料集めに駆け走っていただき、まことに有難うございます」というところから出た古い日本語である。

会席料理は他人に迷惑をかけず、しかも楽しい雰囲気をかもしながら食事をすることである。さてコースですが、お通し、吸い物、刺身、酢の物、炊き合せ、焼物、椀盛、止め椀が普通です。日本料理は西洋料理と違って、全部酒のサカナとして作られてある。このサカナは「酒菜」で酒の相手をするもの、これに対してご飯の相手をするものが惣菜である。ふたものが出た時は、全て始めに全部のふたを取ります。食べ終わったらふたはもとどおりにする。焼き魚は頭のすぐ下の部分から食べる。ご飯のおかわりは、一口ぶん位のご飯を残して頼みます。その他色々ありますが日本料理の場合、箸使いは食事のマナーの基本であり、「箸の上げ下ろしにも」という言葉がある位大事です。江戸後期に出た「貞文雑記」には「箸づかいべからず集」であり、それによると・移り箸・うら箸・まよい箸・よこ箸・箸なまり・ちょうふく箸・さぐり箸他5種類程あります。日本料亭での対応の心得をひと口に言えば、もてなす側は“爽やかに”もてなされる側は“ありがたく”であると思います。

“国債の窓口販売について”

会員 小林 正幸 君

この4月より銀行による国債の窓口販売が開始されました。これは昨年4月施行された新銀行法により限定付ながら、銀行にも証券の販売が認められたもので、金融界が窓販実現の要望書を提出して以来、5年以上の歳月を経たもので、金融史上画期的な事といえます。

今回の窓販が何故実施されることになったのか、その意義についてですが、57年度の国債発行17兆6千億、年度末発行高96兆円と、その消化は一段と厳しいものがあり、低成長時代に入っても国家予算の膨張は続き、財源



不足の埋め合せなどのため、50年以降国債の大量発行が続いており、この安定かつ大量消化は国家的要請となっております。

一方、銀行経営上の問題としては、金融市場の自由化、国際化にともなって企業や個人の金利選好意識の高まりで、銀行資金量は伸び悩み傾向にあり、国債の大量引受けは銀行にとって大きな負担となっております。

国債保有による銀行経営の圧迫は依然続くものとみられ、この圧迫を“窓販”によって少しでも緩和したいという銀行経営安定化への要請でもあります。

今回の窓販は、長期利付国債、地方債、政府保証債の新発債が対象で、その募集の取扱いとハネ返り玉の買取りとなっております。

今回見送りとなった中期国債は本年10月から、ディーリングは来年中には実施の見通しになっており、多様化した顧客ニーズに応えるためにも早期実施が待たれるところです。

“銀行による証券業務進出の第一歩”として今回の窓販は意義深いものを感じます。

◇職場訪問（親睦活動・職業奉仕委員会）

No.2 古川 勝巳 君 ヘラルドグループ

古川勝巳氏はヘラルドグループの中核である。大正10年創業のヘラルド興業(株)は中目シネマ会館をはじめとし、関連する事業所15カ所、従業員150名を有する。ヘラルドフーズの歴史も古く、昭和8年の創業、洋菓子、パン、アイスクリームの製造、販売を中心に3製造工場、22店舗で25億の売り上げをもつ。日本ヘラルド映画(株)は昭和33年の創業と、その歴史は興業やフーズに比べ浅いが、関連事業所4カ所、年商70億を超え、ヘラルドグループの中心的存在である。同じく昭和33年創業の(株)洋菓子のベルンは4店舗、新しい時代の洋菓子を目指し、スイス風洋菓子として好評である。ヘラルドは常に先駆者精神を身につけ創意と革新を旨とするをはじめとした5カ条から成る経営理念が今日のヘラルドグループ実力を世に示す大きな鍵となっている。父、古川為三郎氏を人生の師と仰ぎ、長男為之氏に全幅の信頼を寄せる。恵まれた環境条件に加え明晰な頭脳と時代の流れを鋭く見つめる洞察力、決断力は今後の発展を裏付ける。昭和50年、イタリア共和国から有功勲章、昭和54年にはフランス共和国から芸術文化勲章をそれぞれ受章。笑顔が違う円熟した男の顔がある。

(菅原)

◇次回例会（4月19日）

卓話 “公認会計士について”

会員 宮尾 紘司 君

◇次々回例会（4月26日）

卓話 “産業排気物について”

会員 笹野 義春 君

卓話 “ある若者の青春”

会員 菅原 宣彦 君